

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	山田 恵	職名	助教	学位	学士 (教養)
----	------	----	----	----	---------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
助産ケア 女性の健康支援 思春期健康教育 母子の愛着 (アタッチメント)	女性の健康 予防行動 セルフチェック 母子関係 アタッチメント 感性 寄り添う支援

研 究 課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の女性の健康に関する意識や予防行動の実際を調査し、健康増進のために必要な支援の効果を考察していく。</li> <li>・アタッチメントに問題を抱えている母親に対する、助産師の寄り添う支援を具現化し、効果的な支援のあり方について考察していく。</li> </ul>

担 当 授 業 科 目
<p>&lt;助産別科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合看護学 (前期)</li> <li>・助産診断・ケア学Ⅰ (妊娠期) (前期)</li> <li>・助産診断・ケア学Ⅲ (産褥期) (前期)</li> <li>・助産診断・ケア学Ⅵ (健康教育演習) (通年)</li> <li>・女性の健康支援論 (前期)</li> <li>・助産学基礎実習 (前期)</li> <li>・助産学実習Ⅱ (正常逸脱) (後期)</li> <li>・助産学研究演習 (通年)</li> <li>・助産診断・ケア学Ⅱ (分娩期) (前期)</li> <li>・助産診断・ケア学Ⅳ (新生児・乳幼児期) (前期)</li> <li>・助産診断・ケア学Ⅶ (助産過程演習) (前期)</li> <li>・助産学実習Ⅰ (正常) (後期)</li> <li>・助産管理実習 (後期)</li> </ul> <p>&lt;看護学科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護学演習 (前期)</li> <li>・母性看護学実習 (後期)</li> <li>・ウイメンズヘルス看護論 (前期)</li> </ul>

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 総合看護学 】</p> <p>体験学習や共同学習を取り入れ、学生の自発性を高めるよう工夫した。特に時間内で学習したこと、理解した内容を言語化させ、「何となくわかった」から「このように理解した」とそれぞれの学びの内容を確認し、次回の講義に反映させた。</p>
<p>授業科目名【 女性の健康支援論 】</p> <p>教科書内の内容だけでなく、最近の動向や新たな知見、助産ケアの対象者の実像を具体的に提示して、社会が求める助産師の役割について考える機会とした。</p>
<p>授業科目名【 助産診断・ケア学Ⅰ (妊娠期) Ⅱ (分娩期) Ⅲ (産褥期) Ⅳ (新生児・乳児期) 】</p> <p>知識を統合させケア実践につながるよう、シミュレーション教育を行った。演習計画はできるだけ詳細に立案し、公平性が保てるよう時間調整した。また、学生全体で検討する機会を設け、意見交換できるよう工夫した。</p>

<p>授業科目名【 助産診断・ケア学Ⅶ（助産過程演習） 】</p> <p>母性看護過程展開の経験の有無や、理解度を把握した上で個別対応した。講義時間外でもできるだけ学生対応に努め、学習が円滑に進むよう支援した。</p>
<p>授業科目名【 助産診断・ケア学Ⅵ（健康教育演習） 】</p> <p>集団に対する思春期健康教育を実施できるよう中高に依頼した。企画立案から運営まで学生主体で行えるよう計画した。指導内容に関して中高の教育と齟齬がないよう指導案や教材の確認を行い、教育の質の保障に心がけた。また、コロナウイルスの影響等で実践できなかったが、学生の達成感が反れないよう、成果物を披露する機会を設け、評価した。</p>
<p>授業科目名【 助産学実習（基礎）（正常Ⅰ）（正常逸脱Ⅱ）（管理） 】</p> <p>今年度より 2 か所の新規実習施設が加わったため、実習開始に向けて実習施設と綿密に調整を行った。また他県での実習となるため、学生の負担をできるだけ軽減できるよう、宿泊施設や必要物品の調達を経理課の協力のもと行った。</p> <p>また、遠方実習中の学生に対しては常に連絡相談態勢をとり、実習の支援を行った。学生の心身の体調把握に努め、必要時指導者へ連絡し過度な負担とならないよう調整を図った。記録指導はメール上（パスワードかけ）で提出したものを早期に返却し、効果的に実習が進めていけるよう配慮した。</p>
<p>授業科目名【 母性看護学演習 】</p> <p>看護過程演習では 31 名の学生を担当した。演習資料は、実習で活用できるよう臨床経過に基づいた内容で作成し、提示した。演習では小グループ活動を取り入れ、学生間の学び合いの場を設けた。成果物の確認後、随時個別指導を行った。国家試験対策につながるよう、教科書を活用した学習方法を提案、指導した。</p>
<p>授業科目名【 母性看護学実習 】</p> <p>新規実習施設の実習引率を担当した。多数の看護学校を受け入れているため、本校の実習目標や目的を理解し、学生の目標達成に向けて指導していただけるよう調整連携した。</p>
<p>授業科目名【 ウイメンズヘルス看護論 】</p> <p>8名の学生を担当した。ウイメンズヘルケアに興味関心が持てるよう、話題提供に努めた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本助産学会	会員	1991年4月～現在
日本母性衛生学会	会員	1991年4月～現在
日本不妊カウンセリング学会	会員	2002年11月～現在
日本思春期学会	会員	2005年1月～現在
全国助産師教育協議会	会員	2014年4月～現在

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				

2019年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州子育て支援と子ども文化ネットワーク ムーブフェスタ 2019	シンポジスト	2019年7月13日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
<p>&lt;別科学生募集他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度のオープンキャンパス企画・運営担当</li> <li>・ブログ担当</li> </ul> <p>&lt;別科業務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習コーディネーター補佐として施設との調整、実習に関する準備等を行った。</li> <li>・助産学生4名のアドバイザー担当</li> </ul> <p>&lt;学生支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学科教員や保健室職員の要請に応じて、看護学科学生等の健康相談を行った。関連する病院の紹介や連絡調整を図った。</li> </ul>